

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第7回吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議
開 催 日 時	令和元年8月5日(月) 午後 1時30分から 午後 3時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所202会議室
出席委員(者)氏名 (名簿順標記)	星座委員、杉浦委員、鈴木委員、宮田委員、柳澤委員 糸井委員、金井委員、濱本委員
欠席委員(者)氏名	互委員、靄委員、野口委員
担当課職員職氏名	子ども福祉部 伴部長 障がい福祉課 加藤課長、砂川係長、薄田主査、 海老澤主事
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 4 その他 5 閉会 会議は公開とする
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	資料1 これまでの検討について 資料2 就労支援の現状について 資料3 共同生活援助(グループホーム)について 資料4 今年度の検討事項について 資料5 今後のスケジュールについて
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	濱本委員、杉浦委員
その他の必要事項	なし

1 開会

2 あいさつ

星座委員長

今年度初めての会議となるため、皆さんの忌憚のない意見を頂ければと思います。よろしくお願いします。

3 議事

(1) これまでの検討について

事務局より資料1に基づき説明。

委員長) 事務局からの説明に関して意見質問等がありますか。

全員) 特になし。

(2) 吉川市の現状について

事務局より資料2(就労支援の現状)に基づき説明

委員) B型の新設の事業者について、もう少し詳しく聞きたい。

事務局) 神奈川県川崎市にある事業所で、吉川市中野で検討中。主に、クリーニング作業をやっている。

委員) 吉川市内の利用者が対象なのか？

事務局) もともと、この近辺にある福祉事業所の制服を取り扱っていることから、作業所の拠点として吉川市に新設予定。市内の利用者にも利用してもらいたいと考えている。

事務局より資料3(グループホーム)に基づき説明

委員) 昨年、越谷市の事業所を複数、今年、市内も視察した。数より質を重視すべきと教わった。吉川市内の事業所の質は、とてもいいと感じた。

委員) 重度の方のグループホームの整備が必要と記載あるが、市の考え方を教えて欲しい。車いす、医療ケアが必要な方について。

事務局) 市は、従前通りの入所施設は必要と考えている。グループホームは、比較的障がいの程度が軽く、自立した身の回りのことができる利用者が入ると認識している方が多いが、実際は支援が必要な重い利用者も入居している。また、親の会からも意見もあり、住んでいる地域(市内)にある程度支援が必要な方が利用出来る施設も必要だと考えている。形は、公立、支援をしながら民間、純粋な民間など、考え方をこの会議で検討してもらいたい。

委員) 私たち親の会の目標は、知的障がいの重い子も軽い子も一緒に生活出来る施設が欲しいと考えている。社協のような建物(旧第二庁舎)がいい。でも、建物が古くてだめだと断られた。

事務局) 障がいが重い子は、従来型の入所施設に多い。軽い子は、比較的自分のことは出来ることからからグループホームに多い。重い子がグループホームを利用する場合もあるが、運営面などを考えるとスタッフ配置は大変かと考えている。是非、この会議で、支援の手法など、ケアホーム的なグループホームの必要性やあり方などを検討してもらいたい。

委員) 助成やサービス面はともかく、ハードを市が造ってくれるのが無理だと考えている。全員車椅子、男の子を3人ぐらいで集まって、お金を出し合って土地を買い、バリアフリー化した建物を建て、サービスを受けるといったやり方が1つあると考えている。集まらなかった場合は、自宅をバリアフリー化して、家でサービスを受けながら生活していく。市が施設を造るといった3つの方法があると考えている。

(4) 今年度の検討事項について

事務局より資料4に基づき説明

市長) お疲れ様です。もう7回目ということで、検討も重ねてきましたし、視察も2回行ってきました。今、課長からの話にもありましたが、この検討会議、毎回集まって検討するだけでなく、1つの結果としての提言を作っていただきたいと思います。まず1つ目としては、就労として、こういうのは必要ではないかという提言が1つです。もう1つは、今お話があったグループホームとして、今後、終の棲家として、こうあるべきではないかと提言が2つ目です。この2つが、一色単になったのが古い市役所跡地の利用です。その利用も皆さんからこうあるべきではないのか?と提言が欲しいところです。杉浦委員がおっしゃったように。杭抜きが終わり更地になって、何をするか今は全く未定です。僕は市長選挙の時に、福祉拠点造ろうじゃないかと訴えているので、グループホームがありかもしれないし、就労の場として何かを誘致することもありかと、そういったところを皆さんが、どう考えるのか是非この会の中で提言を出していただきたいと思っています。もう1つ柱があって、就労と住まい以外にも、様々な細かい提言というのが、皆さんにも色々要望やご意見あると思いますので、これも1つパッケージとして出していただきたい。今出ている案の1つの例として、屋内スポーツ大会時に、もっと多くの企業を呼んで就労のキッカケ作りをしたいという意見がありました。あと、市民まつりで、手話サークルのコーラスをやってみようという意見もありました。また、吉川駅の北口がバリアフリーになっていなくて、路面がガタガタしている、段差がある、急な勾配がある、そういったところを直すべきではないのか?といった話も頂いています。そういったものを項目として、小さな要望の中のパッケージにさせていただけると、予算に繋がっていくのではないかなど。以上4点を今年度中に、どこまでやれるか全てをやれるのか分かりませんが、やれるところはしっかりまとめて、形にさせていただきたいな

と思います。

少し話を戻しまして、グループホームですが、いくつかのパターンがあると思います。今後、行政が全て箱を造って、中で当事者の子達をずっと支援するというのは、財政的に非常に厳しいです。今、吉川市のだいたい年間の平均予算が、220～250億ぐらいあるんですけど、必ず出ていく経常収支、経常的に絶対にかかってしまうお金の率が98%ぐらいになっています。人件費なんだかんだで・・・残り2%が、新しいチャレンジに使えるという状況のなかで、なかなか新しい事業を行政が主導するというのは難しい状態。だからこそ例えば、土地は市役所の土地をタダで使っていただくことは僕たちでも用意出来るから、民間を招いて、そこにグループホームを造っていただく。市としては、土地を買うお金が無いだけでも、民間にとってすごくプラスになると思っているので、そういった支援は出来るんじゃないかなと思っています。グループホームも金井委員がおっしゃったように、何人かの子が集まって、気心が知れた子達が一軒家に住むという方向性をメインとしてやってみようということになればですね、ネオポリスといって、沼部公園、栄小学校の向こう側の東側の地区は、かなり空き家が出てきている。そういったところを上手く地権者さんと行政が間に入って、お借りすることが出来ないかという形であって、そこでチャレンジ的にグループホームやってみるとか、例えばそこをリフォームするのであれば、そういった支援を市としては、色々な業者さんをお願いしたり、金銭的にも少し出したりといったことも可能かもしれない。そういった提言を吉川市としては、グループホームをこういう方向で行こうというようなものを打ち出していただけると、僕らとしても非常にやりやすいかなと思います。

次、就労はですね。まず1つ目は、ずっと市役所で夏休み受け入れをしている、もう4回目になると思うんですけど、昨年の子達の仕事が、とてもよくてですね。仕事が出来るんじゃないか？というのが、担当からも聞いてます。これはマッチングがあるので、やれる子やれない子がいるんですけど、今年あたりに市としてもしっかり、この仕事はいくらいくらでやれるというようなことを精査して出したいと思います。まず市役所で、完全な雇用といかないまでも、働く場でお金が貰えるというのを市が率先して形にしたい。あとは屋内スポーツ大会で、昨年は商工会から2名来ていただいていますけど、地元の企業の方に来ていただいて、見て知っていただいて、出来る限り地元の企業でも一人二人雇用してもらえよう態勢を作っていくというのが、まず僕ら行政がしかけていけないのかなと思うので、まずこれを中心にしていきたいと思います。

もう一つは三輪野江。この前、農業をやっている所（アルファイーノベーション）を視察に行きましたけど、三輪野江のスマートインターがあるんですね。あそこは今、茨城から帰ってくるとしが出来ないんですけど、この後4～5年で東京からも行って帰って来ることが出来るようになります。三輪野江は農地が多いので、あそこを農業拠点にしようという計画を立てていて、ちょっとごちゃごちゃと書かれていて、見づらいんですけど、これが高速道路だと思って下さい。バイパス沿いにですね、真ん中に道の駅をドンと造り、なまずの養殖場、加工会場、レストランを造りたいと思っています。三輪野江が公園がないので、広い公園を併設させて、ここに植物工場や体験型の農場を造りたい。全体のエネルギーは、ここに再

生可能アレルギーで生み出していて全部を賄う構成を持っています。実際に今企業さんでもいくつか興味を持っていただいて、うちはなまの養殖や加工をやってみたいんだという企業さんだったり、植物工場をやってみたいという企業さんがチラホラ手を挙げてくださっている。ただ、これ市の土地では無いので、地権者さんそれぞれに100人以上いるわけです。その地権者さんを説得し、企業に入ってもらって、雇用体制を生み出す。というところが、最終的な理想なんですけど、1-2年では難しいかなと。じっくりやっていこうと言うことで、もう少しを項目を出して具体的に職員で精査しています。企業さんに言っているのは、必ず障がい者雇用を生み出して欲しいと、なまの養殖・加工、そしてレストランも必ず障がい者が働けるような企業さんでないと、誘致しませんと言っています。植物工場ですね。先日、千葉大学と農業の包括的提携を結びました。千葉大学が一番植物工場が進んでいて、前に話したと思うんですけど、工場の中が地べたが土でなくて、コンクリ打ちをしていて、車いすでも行ったり来たり出来るわけです。棚も高さが調整出来るわけで、立てなくても車椅子に乗ったままでも収穫作業で働けたりする工場を千葉大が一生懸命実験的にやっているの、そこと連携しているの、この構想の中に最終的には作るんですけど、それが出来る前に実験的にやってみたいなと思っています。そこでも皆さんの力を貸して頂いて、どこかのハウスを借りて、その中を植物工場にして、実際に働けるのかどうか、そういったところをやってみたいなと思っています。そして、それを千葉大学にデータ返す。千葉大学もデータを入れて、実際の植物工場に役立ててもらえるんじゃないかと。これを5年ぐらいの中で、やりたいと思っているので、そのあたりを皆さんと踏まえながら、この検討会議から出た提言として、この中に生かしていくと。決して市長が一人やっていると言っているのではなく、検討会議の皆さんからの意向を受けたというところを、やっぱり企業の皆さんにも議会にも訴えていく力になると思うので、こういった形で提言をこの会でしっかりとまとめていただいて、今年度の残り数か月が一番大事だと思います。

委員) 旧庁舎跡地利用について、すでに検討会議を2回やっているということだが、間違いなく福祉の拠点になるのか？

市長) 間違いなくではないんです。市長選挙の時、僕は公約にしています。大枠はそうなんです、議会から見たら市長が言った通りになるのか？っていう、色んなこういうのがあるんですね。僕じゃなくて1回市役所の職員が課題を洗い出しして、本当にどうやって使っていくべきかという大筋を職員が、まず出すと。基本的には、福祉とか高齢者といったキーワードになると思うので、それを踏まえた上で皆さんの提言を乗せて、じゃあ、こういう方向で行こうねというのを来年度の頭ぐらいには出していきたい。

委員) 議会にかける？

市長) 議会にはかけません。市役所内部で揉んで、多くの皆さんから意見を頂いているので、福祉の拠点にしよう。じゃあ実際にグループホームを

造るべきなのか、就労の場として企業を誘致するべきなのか、といった議論をしていって、ある程度この企業に入ってもらえるとなつて、うちらはお金を出さないといけないとなつたところで、議会の承認が必要となります。

委員) 最後の最後ですね?

市長) 最後の最後です。

委員) 8-9割決まって、それから議会にかけると?

市長) そのためにも丁寧に議論を重ねたつていう実績が必要になります。

委員) ひっくり返される場合もあると?

市長) おあしすの改修もそれで・・・。

委員) ある程度、グループホーム建設のお金は子のために親が出すべきだと思っている。経営等は企業に入ってもらうしかない。重度の子、軽度の子、男の子の棟、女の子の棟、オープンルームがあり、みんなが生活出来るのが長年の夢。

市長) 第二庁舎のように、大きい方がいいんですか?

委員) はい。一つ一つ部屋があるので、部屋を改装すればグループホームになると思う。

市長) 大きい方がいいのだろうか? 金井委員が言うように、数人でのいいのだろうか?

委員) その子がどう思うかだと思ふ。大きいは大きいで、わけあいあいと出来るメリットある。逆に、お風呂やご飯を全員同時に済ませる等時間制限が出てきてしまう。そういった部分を嫌がる場合もある。

市長) 3-4人のマッチングというのは、ご自身でやっているものですか?

委員) やっています。全員男、年齢近い、車椅子、お金を持っている人と限定すると、限られた人になってきます。

市長) それでもし金井委員が3-4人グループリング出来て、この4人で一戸建てで生活してみようというプロジェクトを立ち上げてくれて、うちらが色々支援していって実験的にやってみるといいですね。

委員) 親亡き後の子供を心配するのは、親がみんな思っていること。吉川市が旧庁舎跡地を福祉拠点に変えることが、成功事例になれば、全国的にもいいんじゃないかなと思う。

市長)でも、それだと結局は大規模なものになる。それはそれでありだと思
う。僕は金井委員みたいにすぐやれるってことであれば、3-4人でグル
ープを作ってもらって一軒家を探すのを僕らも手伝って、そこのリフォー
ムをどうするのか1回実験でやってみて成功すれば、そういうやり方があ
るんだなと空き家対策にもなるし、大きなものを建てるとなると、それこ
そ3-4年かかる。

委員)グループホーム利用するにも子にもよるが、親離れ出来ていないと大
変。

市長)この検討会議で、旧庁舎跡地にこういう大きいグループホームを建て
るという提言もあっていいと思うし、金井委員みたいな小さくやることで
早くやれるんじゃないかなと思います。両方提言として出して貰えば面
白いと思う。

委員)小さい方は車椅子に限らず、知的の子でも精神の子でも自立度が高め
れば空き家が使える場合がある。

市長)3-4人でグループを作ってもらって、この子たちが自分達で自立す
る生活をチャレンジしてみようとして、一軒家借りていただいて、それぞ
れにサポートが出来ると思います。具体的に出来れば、すごくいいと思
います。

一回視察に行きましょう。大きいグループホームと少人数でやっている一
戸建てのようなところがあれば視察しましょう。一か所ずつ行った上で、
今みたいなみんなでも検討して、二本立てでチャレンジするのか、提言をも
とめる感じで方向性を出していきましょう。

委員)旧庁舎跡地の更地の高さを教えて欲しい。車椅子で移動するのは結構
大変なので、ある程度段差昇降機など高さを解消するものが必要かと。

市長)3つ建物があって、1つはガラスで出来た保健センター。それは、そ
のまま残して保健センターの業務と2階は発達に課題を抱えている子供た
ちに専門的な療育のスペースにしているんですね。それは、そのまま残し
ます。真ん中の部分に、市長室や市民の窓口になっていた第一庁舎があっ
て、そこが、耐震性が弱かったので全部取り壊して、今おっしゃったよう
に駐車場と同じような高さでスライスになっています。ですから今後そこ
に、就労のための民間を呼ぶのか、グループホームを作るのか選択肢があ
りますけど、当然入れば、なるべくバリアフリー化することは大前提で
す。その横に、第二庁舎といってプレハブの古い庁舎がまだ残している状
態。そこに社協さんが今入っていて、それを杉浦委員が見ていいんじゃな
いかなと思ったようですが、かなり雪雨降ると厳しい状況なので、いずれ
あれも更地にして何かを建てたいと。旧庁舎も皆さんに見ていただいて、
大きさとか今の状況を見た上で判断を。

就労についてまとめたんですけど、さっきも言ったように、ある程度、
今までの夏の研修、就労体系も踏まえて、市としての方向性を出して欲し

い。賃金を払ってやってもらう形に、そろそろ切り替えられるんじゃないかと思うので、ぜひその調整をしてチャレンジ出来る子達を賃金を払う形で就労の場にして欲しい。体験では無く。それは必ず、市の主導でやっていきます。あと、屋内スポーツ大会もなるべく皆さんに知っていただけるように、更に企業のみなさんと呼ぶということで、今年も頑張ってもらいたい。あと、市民まつりでどうするんだろう？手話コーラスとかは、やるのかしら？

委員) やります

市長) やってくれる。では、是非継続していただいて。他に就労支援で、就労の場を作るというのは大前提で、そこに向けた道として、何かもうちょっとやるべきではないか？というのがあれば、言っていただいて動いていきたいと思います。

委員) パパイヤ育成の件、どうなりましたか？

市長) 施設をみんなで見学しに行きました。かなり自治会のお父さんお母さん達が、真剣に取り組んでいます。その中で皆さん農福連携が、1つのキーワードだとおっしゃってくれていて、まずはパパイヤの育成がきちんと出来るかどうかという状況を素人のお父さんお母さん達、農家さんも何人もいるんですけど、その人たちがある程度確立するのに、市がバックアップして、それが出来ればチャレンジとして就労支援に繋がっていくんじゃないかと思っています。すごく前向きに進めています。

委員) うなぎに代わるなまぎの蒲焼きの考えはあるのか？ブームになるのでは？

市長) それは、4年前からブームが来ておまして、吉川市がなまぎの蒲焼きでノミネートされたんですよね、それをキッカケになまぎサミットと言って、全国で展開されていく中で、第1回目はうちがやらしていただいておまして、ますやさんとかに行けば、すでに食べることが出来ます。大事なものは、それを加工してスーパーマーケットとかに、うなぎのかば焼きと同じように、真空パックで置けるところまでもっていかないと、産業として成り立たないんですよ。だから、こういう工場を誘致して作る。その工場勤務が、障がいを持っている方々も出来るように、もっていきたくて思っています。頑張りたいと思います。

委員) 千葉大学の農場は、野菜メインですか？

市長) 野菜も果物もやっています。

委員) 生産と加工、付加価値を付けていかないといけないと思う。

市長) 今、夏ネギを押しだしているですよ。ネギと味噌を使ったネギ味噌的な瓶詰を作れないか？とか、そういう商品を開発すれば、道の駅でも販売出

来るようになりますし、その製造に障がいを持っている方々が関われるような場にしていきたい。皆さんがおっしゃったように、付加価値をどれだけ付けられるかというところでしょうかね。

委員) 子供達が集まれる場所がいいと思う。

市長) この前も三輪野江地区に入って、50人ぐらいの地権者達に協力してくれないかと三輪野江何も出来ないよ、このままでいいの?と力説してきました。

委員) アカシアの木を植えミツバチを集めて商品化するとか、森づくり、子供が集まれる場所がいいと思う。

市長) 宮田委員だから、そう言ってくれるんだけど、地権者さん達が地元の人とは限らないんです。東京住んでたり、三郷、八潮に住んでいる人達は財産価値が上がるのが大事で、こんなべつに市長が言っている構想に協力する言われはないよねって気持ちも一杯いるの。その人達を全部説得しないと。宮田委員みたいに、未来の吉川を考えてくれるのであれば、グッとまとまるんですけど。

委員) ほとんど農地なんですか?

市長) 農地なんですけど、白地とって非常に開発しやいんですね。そうすると何が起こるって言うと、持ってる人達が田んぼやりきれなくなると、駐車場とか資材置場にも貸し始めてるんです。虫食い状態になっていて、周りの環境としても住環境としても良くない環境が生まれ始めているので、こういった形で整備をすることによって・・・。

委員) スマートインターフル化など立地要件がよくなると、他の企業が目をつけてくる場合もあるのでは?

市長) ただ、企業がすぐに開発出来る土地でも無いんです。駐車場とか資材置場までが、ギリギリ許されていて。そこは、僕らが先頭立って、ここからここまでを許してくれて国と交渉しないとダメなんです。それは民間じゃ出来ないんで、僕らは企業の誘致では無くて、拠点をまず造ると農林大臣に会って言ってきてます。そっちを優先的にやっていこうと思っています。壁はありますけど、こうやって検討会から出た意見として、僕らが言えれば、すごく突破する推進力になるので、是非皆さんから提案が欲しい。

委員) 障がい者がなまの養殖、食品にパック詰めをするとの話が市長から出ているが、障がい者雇用は大丈夫なのか?興味を示している企業があるのか?ことだが、すでに障がい者雇用してもいいと言っている企業があるのか?

市長) そうです。この絵面を見ていて、これにすごく賛同してくれていて、なまの養殖、加工、レストラン、これにプラス障がい者高齢者雇用というところを分かっていたらいてる方が、興味を示していただいている。そこ

がうまくトントンと行けば、今言った理想の形が作り出せるかなと思います。先生方から就労の部分で、どうでしょう？検討会として、提言していくものとか、僕らがすぐ出来ることがあれば、もう一度そこ聞かせていただければ、下半期で形にしていきたいと思うんですけど。

市長) なまずの養殖、加工、レストランで高齢者、障がい者雇用に企業が理解を示している。

委員) 4つの項目の優先順位は、この会が決めるのか。それともトップダウンでおりにくるのか？組織として、どの順番でやるのか？

市長) そこは前提としてあります。就労と住まいについて、検討するという所なので皆さんにお声掛けしているので、この2本柱が大きなテーマとして絶対です。それをまずは、それぞれに検討していただきたい。両方兼ね備えたのが、旧庁舎の利用なので、それを是非3番目として旧庁舎はこうすべきじゃないか、という提言がいただきたい。4番目としては、今までの会議をやる中で、この2つの就労と住まい以外にも様々な生活部分のご意見をいただいているので、先ほど話したようにバリアフリーとか、その部分も出来れば提言をいただくと、更に検討会議の意味があるのかなと。この4つは、もうフィックス固定で是非検討して提言をいただきたい。

委員) では、様々な話に飛んだが、話の筋としては合っている？

市長) 合っているし、今日は振り返って次、どう動いていくのか？という日にしたい。

委員) 庁内実習の受け入れ、ありがとうございます。過去の実習生から、「所詮実習でしょ？」こういった声が上がっています。市長の先ほど、「お金に換算出来る」、「お金を出せる」といった発言に驚きと感謝をしている。これこそ、オフレコなんですけどもっと難しい仕事が出来ると思った。あれだと、この子を送った意味がないという声が、担任の中から、あがってきた。

市長) オフレコの部分は、僕にも前から入ってきておりまして。所詮体験なんだろ？僕としては、当然最初の入口は体験だし、今後体験を続けていくのは全然いいんだけど、市が率先して雇用していくという姿を示さない限り、商工会の他の企業にお願いしたって、説得力が無いだろうって話を担当とずっと今までできてきてます。数回体験をやらせてもらったので、今先生がおっしゃったように、その子にもうちょっと能力があるのであれば、事前にそこはちょっと打ち合わせさせていただいて、体験の高さは、その子その子にあわせて、強度をしていくよう担当に言うておきます。ここで言うておきます。出来る限り体験とは別に、お金が貰えるような形にしたいと思ってます。制度設計もなるべく急いでやって、今年の体験を踏まえて来年からといったタイミングで、お金が払える形にもっていききたいと思います。

委員) 学卒だけではなくて、今施設で活動されている方も対象？

市長) 基本的には誰でも。アルバイトにしたってやれる人はいるわけだから、基本的には誰でもいい形に持っていきたい。それに制度設計してから、また相談していききたい。

委員) 本校は、肢体不自由児の特別支援学校で、就労するにしても、職種の壁があり、なかなか就労できない。グループホームよりショートステイ希望する声が多い。必要な時に、すぐに使える環境が欲しい。半年待ちなんて声もある。

委員) ショートステイは、緊急時に利用するのが基本のはずなのに、機能していないのが現状。考え方として、ショートステイをうまく組み入れて、在宅で暮らす。住み慣れた家で生活するのもいいと思う。

(5) 今後のスケジュールについて
事務局より資料5に基づき説明

市長) 12月中に就労支援のまとめを出したい。

委員) 視察予約は、早めにやった方がいい。

市長) 就労の提言も事務局である程度まとめたもの次から出していききたい。

委員) 日程について、出来るだけ早く出してほしい。

4 その他

5 閉会

以上、会議の内容に相違ない事を証するため、ここに署名する。

令和元年9月27日

署名委員 杉浦 道子 (自署)

署名委員 濱本 裕史 (自署)